

洲本地区だより No.40

平成 19年 12 月 27日
洋友会 洲本地区(事務所)
TEL&FAX 0799-23-9702
電話は火・木曜日の午前中

新年 明けましておめでとうございます。

洋友会洲本地区会員の皆様には益々ご壮健にて新春をお迎えの事とお喜び申し上げます。

日頃から洋友会活動にご協力とご支援を賜り、有難う御座います。昨年は、恒例となった新年の先山と千光寺で健康と家内安全祈願を初め 4 月の総会、10 月の神戸地区の日帰り旅行、図書館まつりのボランティア、12 月の忘年会及び各クラブ行事等、例年通り行事を開催し、多くの方の参加を頂きました。

サポート三洋運動についても一昨年に引き続き展開しており、会員の皆さんには大変ご協力を頂きました。会社もOBの支援に恵まれ、最近の新聞等の情報では良い情報が多くなり、業績改善が進んでいるようです。洲本地区会員数は、19年 1 月には 84 名でしたが、12 月末には 96 名で、20 年 4 月には 100 名を超えると推測されます。

洋友会洲本地区は、会員が主役になって御意見を会長(世話役代表)や役員(世話役)に気軽に申し付け頂き、洋友会全員で盛り上げて頂きたいと思っております。

平成20年も更なる健康維持に努められ、健康で楽しく良い年になりますよう祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

洋友会洲本地区 会長 橋本 尚



<柏原山・山頂にて>

歓迎！ 新しく1名の加入がありました。

(総会員数 96 名)

●藤代 光男さん(最終職場：モバイルエナジー カンパニー イオン電池製造組立 1 課)

- ・昭和 44 年 3 月に臨時雇いとして採用されましたが 46 年 4 月に課長に推薦をして頂き、正社員にしてもらいました。その後も良い上司や先輩に恵まれ、今年 10 月 20 日付けで無事定年退職することが出来ました。住まいが由良です。
- ・海釣りや家の掃除を日課にしています。暫くはリフレッシュ期間にしたいと思っています。今後は洋友会活動にも参加したく、よろしくお願い致します。

確定申告・説明会のご案内

●来る 3 月の所得税確定申告の申請について、退職後初めての方を対象に説明会を予定しています。下記の要領で行いますので、参加される方は、洋友会事務所(Tel/Fax: 0799-23-9702)迄連絡下さい。

- ・ 日 時：平成 20 年 1 月 17 日 午前 9 時 ・ 場所：洋友会事務所
- ・ 持参資料：医療費領収書、年金等の源泉徴収票、各種保険の控除証明書等

お知らせ：事務所の 1 月・2 月の開所日は次の通りです。気軽にお越し下さい。

1/01	お休み	1/03	お休み	1/08	原下・谷本	1/10	役員会
1/15	山口(正)・山口(喜)	1/17	青海・廣瀬	1/22	橋本・フリーデー	1/24	萩野・川野
1/29	小西・山崎	1/31	阿部・藤本	2/05	原下・谷本	2/07	役員会
2/12	山口(正)・山口(喜)	2/14	阿部・藤本	2/19	橋本・フリーデー	2/21	青海・廣瀬
2/26	小西・山崎	2/28	萩野・川野				

■ 年の瀬を、忘年会で楽しみました！



<記念写真：休暇村・南淡路の大広間にて>

- 恒例の洲本地区・洋友会、平成 19 年度の忘年会を 12 月 7 日、ここ淡路島の「休暇村・南淡路」で行いました。当日は、淡路島の内外から合計 36 名の会員が集い、日頃のご無沙汰を笑顔に変えて、互いの健康を讃えあいました。
- 会場では、最初に橋本会長から挨拶がありました。平成 19 年の活動概況を報告すると共に、各種協力へのお礼がありました。宴会が一段落した中で、新入会員で出席された4名の紹介がありました。それぞれ本人から現況と力強い抱負が述べられ、全員の拍手で、温かく歓迎を致しました。
- 乾杯の後、おいしいお酒と共に、休暇村の会席料理に舌鼓を打ち、旧交を深めた話に大いに花が咲き、楽しいひとときを過ごすことができました。

■ 洲本図書館の市民まつりに、ボランティアで協力！

- 「人と自然の豊かな調和をめざして」というスローガンのもとに、恒例の図書館市民祭りが、10月27日(土)と28日(日)に洲本市立図書館で行われました。当日は、バーベナ寄せ植え展、吹奏楽演奏、電子紙芝居、ちぎり絵展並びに本のリサイクルフェア等多彩な行事が行われました。
- 洲本地区・洋友会から 20 名の会員が、ボランティアでお手伝いをしました。前日の会場設営から当日の駐輪場管理と終了後の撤収(10/29)迄、計4日間に亘り、協力を致しました。
- なお、本年も目玉行事として「洲本市の新エネルギービジョン(農林水産部・牧野瀬氏)」と「安部喜平と洲本の未来(教育委員会・浦上氏)」と題する講演が行われました。



<お手伝いする会員：図書館入り口で>

■ 会員活動

●第22回 国民文化祭・合唱の祭典に参加して。 (伊藤 東さん報告)

*文化の国体と称される国民文化祭が、10月27日から11月4日迄、徳島県で開催されました。地区会員である伊藤 東さんは、合唱団の一員として参加され、祭典のオープニング・セレモニーで、その美しいハーモニーを披露しました。

*舞台での活躍は、合唱団全員の写真入りで徳島新聞(10/28付)に詳しく紹介されました。今般、家族の応援に支えられた伊藤さんの活躍ぶりを伺いました。

-- 合唱団に入ったきっかけは。

・“国民文化祭 徳島 2007”に向けて、新規に男声合唱団(あわ・コラリアーズ)が創立され、団員の募集(今年3月中頃)がありました。学生時代混声合唱に参加経験(約2年)があり、徳島で機会があれば合唱を再開したいとの点から、即、参加しました。

-- 参加して、どんなことに感動されましたか。

・合唱においては全体との調和(ハーモニー)確立が重要で、大勢で何かをなすときに共通しますね。合唱の素晴らしい点は、小学生から大学生まで、更には70代迄一緒に歌えることです。合唱の祭典では、皇太子ご夫妻御臨席のオープニング・セレモニーで、まさにこれが実現しました。

-- 今後はどんな計画がありますか。

・来年5月4日(日)に徳島市郷土文化会館で、我が”あわ・コラリアーズ”50名は、女性合唱団(櫂)50名とジョイントコンサートを行います。これに向けての練習で当面は大変です。ゆくゆくは、施設、小学校など慶祝、慰問演奏活動を行いたいと考えています。

-- 家族の応援で、一番の癒しはなんですか。

・孫と一緒に時間が何よりの癒しです。12月の初めに東京の孫(希)に会いました。この12月に3才になるので、アンパンマン自転車をプレゼントして、一緒に遊びました。(了)



<お孫さんと楽しむ伊藤さん>

● 洲本市展で受賞して (10/31-11/4・洲本市文化体育館)

(青海 弘嗣さん記)

◇山歩きと旅行が好きなのは、記録を残す為にカメラを持って行きます。少しでも良い写真が撮れたらと思い、定年退職後、洲本の写真クラブに入りました。写真は光の芸術と言われます。山は、早朝や夕方に素晴らしい景色を見せてくれます。よい写真を撮るには山小屋に泊まったり、撮影ポイントにテントを張ってその時を待つのです。しかし、山歩きが主で、ついでに撮る私は、そこまで熱心ではないのです。

◇今回受賞した写真は、今年5月5日に山梨県側から入山して残雪が多くてアイゼン(滑り止め)を装着して登った甲武信岳(2,475m 埼玉県、山梨県)から、ルートを変えて徳ちゃん新道を下山途中に撮ったものです。空に向かって真っ直ぐ伸びる樹林。根元に咲く名も知らぬ赤い花。そのコントラストが



<受賞作品：早春>

評価されたのでしょうか。海外旅行には、デジカメで街角や市場で地元の人を写して、その画像を見せると打ち解けた雰囲気になります。言葉が判らなくても、コミュニケーションが出来るので、この様にして私はカメラで楽しんでいます。(了)

●サンカルチャー大会・入選作の紹介



特選：爺と婆（山口さん）



入選：夕景（村中さん）

◇三洋労組主催の秋のサンカルチャー大会において、洲本地区洋友会から、山口隆志さんと、村中公一さんの2名が出展しました。

◇その結果、工芸の部で、特選並びに写真の部で入選と評価されましたのでその作品を紹介します。

■ クラブ活動

●第44回ゴルフコンペに優勝して（四国CC）

（川野 義憲さん記）

◇去る11月9日に開催のコンペに参加しました。古希を迎える年齢になって、めっきり飛ばなくなり、最近では100前後のスコアで推移し、入賞にも遠ざかっていました。

◇今回の勝因はセカンド1番手上げを軽く打ったこと、バンカーに入りそうなのが、アゴの打ちやすいところに止まる等のラッキーもいくつかありました。

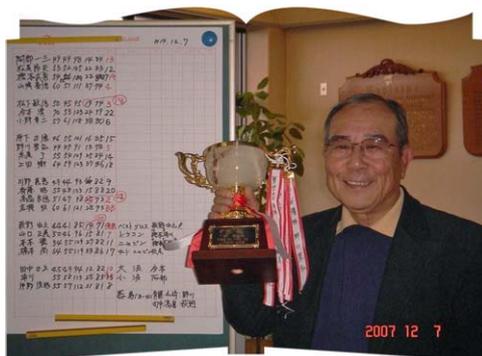
◇今の健康を大切に、この優勝を励みに今後もゴルフを楽しんでいきたいと思っています。（了）



＜優勝カップを手にした川野さん＞

●第45回ゴルフコンペに優勝して（淡路CC）

（萩野 由之さん記）



＜優勝カップを手にした萩野さん＞

◇12月7日、本年最後のコンペで久しぶりに優勝をすることができました。回を重ね45回目のコンペという歴史を、最初からかかわってきた者として、また、70歳に到達しての快挙(?)ということで、感慨深い気持ちです。思い返せば、約10年前に当時の会長、近藤さんとクラブ活動の立ち上げに取り組み、会員数の少ない中でゴルフクラブと家庭菜園クラブからスタートしました。現状の各クラブの充実ぶりは、その時には、なかなか予測もできませんでした。

◇小生の生活実態は、ボランティアで少しの社会貢献、孫とのお遊び、そして最重点項目はゴルフです。町内会、同窓会のゴルフのお世話もしながら、色々な分野で活動されている方々と交流するのが楽しみです。また、衰える体力をテクニックでどれだけカバーできるか、挑戦する気持ちで練習場へもよく通っています。

◇生甲斐を支える最良の友として、長くお付き合いをしたいと考えています。（了）